

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



GO! GO! Colorful Concert!

クラシック音楽は、楽しい!
沸き立つ喜び、突き抜ける爽快感
クールで刺激的な 夏がやってくる



鈴木 優人 指揮 / チェンバロ / オルガン
(読響首席指揮者 / クリエイティブ・パートナー)
MHSATO SUZUKI, Conductor, Harpsichord Organ



アンドレアス・バーゼン
リコーダー
ANDREAS BÄRENZ, Recorder



辻本 憲一
トランペット (読響首席)
HENSHI TSUJIMOTO, Trumpet



荒木 奏美
オーボエ (読響首席契約)
RIKUMI FURIHARA, Oboe



日下 紗矢子
ヴァイオリン
(読響特別客演 / ソナタ・マスター)
SHIHAO HOSHINO, Violin

2023
7.22 Sat 14:00
読売日本交響楽団
第259回 土曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場
VNSO Saturday Matinée Series No. 259
Tokyo Metropolitan Theatre
S ¥8,000 A ¥6,000
B ¥5,000 C ¥4,500

2023
7.23 Sun 14:00
読売日本交響楽団
第259回 日曜マチネーシリーズ
東京芸術劇場
VNSO Sunday Matinée Series No. 259
Tokyo Metropolitan Theatre
S ¥8,000 A ¥6,000
B ¥5,000 C ¥4,500

読響チケットセンター
0570-00-4390
(10時-18時・年中無休)

鈴木優人(オルガン)とアンドレアス・バーゼン(リコーダー)による即興演奏
Improvisation
クーペラン (鈴木優人編): 「諸国の人々」から「ピエモンテの人々」
COUPERIN (arr. M. SUZUKI): Les Nations "La Piemontoise"
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲第2番 へ長調 BWV 1047
J.S. Bach: Brandenburg Concerto No. 2 in F major, BWV 1047
ラヴェル: 組曲「クーペランの墓」
RAVEL: "Le Tombeau de Couperin" Suite
プロコフィエフ: 交響曲第1番 二長調 作品25 「古典」
PROKOFIEV: Symphony No. 1 in D major, op. 25 "Classical"



指揮／チェンバロ／オルガン
鈴木優人
(読響指揮者／クリエイティブ・パートナー)

マルチな才能で新時代を切り拓く気鋭。2020年4月から読響指揮者／クリエイティブ・パートナー。東京芸術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。国内外の楽団を指揮し、鍵盤楽器奏者としても活躍。13年から調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサー。18年にパツハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者に就任。BCJオペラシリーズのプロデュースを務め、20年「リナルド」などで高く評価された。今年3月末から4月にはオランダ・パツハ協会にて「マイ受難曲」全13公演を指揮し、成功に導いた。23年4月から関西フィル首席客演指揮者。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演中。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞など受賞多数。

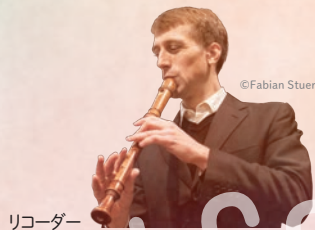
沸き立つ喜び、あふれる愉悦!

鈴木優人が誘うバロックと近代音楽の妙なるマッチング

J.S.バッハから現代音楽まで演奏し、鍵盤楽器奏者、指揮者として八面六臂の活躍をみせる鈴木優人が、彼ならではの独創的でユーモアいっぱいのプログラムをお届けします。即興音楽で開幕し、バロック時代の2作品を前半に演奏、後半には20世紀初頭にバロック音楽から影響を受けて作曲された洒落な2曲を披露します。土日の午後には、音楽の純粹なる美しさと沸き立つ喜びを感じていただけるでしょう。

冒頭に、ジャズ・サクソ奏者としても活躍するオランダの名手ベーレンがリコーダーを吹き、鈴木がパイプオルガンを弾き、音楽の根源に迫る即興演奏を行います。二人の異才が繰り広げる自由なセッションをお楽しみください。続いて、「フランスのバッハ」と称されたクーブランによる組曲「諸国の人々」から「ピエモンテの人々」を演奏。星降る夜に、弦楽器らが朗らかに歌い、リコーダーが優雅に語らうような至福の時間となるでしょう。続くバツハ作品では、リズムカルで踊り出したくなるような曲想の中、トランペットの辻本が輝かしい音色で超絶技巧を披露します。リコーダーのベーレン、オーボエの荒木、コンサートマスターの日下、チェンバロの鈴木らによる表情豊かな掛け合いにもご注目ください。

後半は、20世紀初頭に書かれた2曲を演奏します。19世紀のロマン派音楽は、苦悩や絶望の感情を音で表しましたが、20世紀の作曲家ラヴェルやプロコフィエフはバロックや古典音楽の様式に再び光を当て、新たな美を追求しました。ラヴェル「クーブランの墓」は、第一次世界大戦で犠牲になった知人たちへの追悼の音楽として、クーブランの音楽や古典の様式を用いたもの。過去の思い出と共にそよ風が吹くような「前奏曲」に始まり、3つのカラフルな舞曲が展開されます。オーボエなどのソロもご堪能ください。最後のプロコフィエフ「古典」は、ハイドンの世界をモダンな感覚で描いたような爽快な作品。鈴木のとくは、洗練されたシャープな響きを引き出し、作品の魅了を余すことなく伝えるでしょう。フィナーレでは、次から次へと楽器がスリリングにバトンをし、息つく暇もなく全速力で駆け抜けます。



©Fabian Stuert

リコーダー
アンドレアス・ベーレン

リコーダー奏者やジャズ・サクソ奏者として国際的に活躍する鬼才。自ら主宰して古楽アンサンブル「テアトルム・アフエクトゥム」やジャズ・グループ「アンドレアス・ベーレン・バンド」などで活動するほか、ハーグ・レジデント管、カプリッチョ・バロック管、パツハ・コレギウム・ジャパンなどと共演している。エオルス・レーベルなどからCDをリリース。1983年生まれ。リコーダーをヴァルター・ヴァン・ハウヴェらに師事、即興をルドル・ルツらに学んだ。今回が読響と初共演。



トランペット
辻本 憲一
(読響首席)

抜群のテクニックと輝かしい音色で魅了する俊英。2016年から読響首席奏者。エリーゼ・マイヤー・コンクール第1位、日本音楽コンクールと日本管打楽器コンクールで第2位を受賞。1997年に東京フィルに入団し、首席奏者などを務めた。ソロ、室内楽でも活動を展開しており、別府アルゲリッチ音楽祭、東京・春・音楽祭などでも活躍。ブラスヘキサゴン、東京トランペットカルテットなどのメンバーも務め、CDも多数リリース。2022年に、初のソロCDもリリースし好評を博している。



©Kenryou Gu

オーボエ
荒木 奏美
(読響首席契約)

甘い音色と豊かな音楽性で聴衆を魅了する名手。2023年4月から読響首席契約奏者。東京芸術大学卒業、同大学院を修了。15年から東京交響楽団の首席オーボエ奏者を務めた。第11回国際オーボエコンクール・軽井沢では日本人初、アジア勢でも初の第1位(大賞賞)、併せて聴衆(軽井沢町長)賞を受賞。巨匠ホリガーに認められ、17年にオーボエトリオでもツアー公演を行った。ソロや室内楽でも幅広く活動を展開している。出光音楽賞受賞。



ヴァイオリン
日下 紗矢子
(読響特別客演コンサートマスター)

伸びやかな音色と妥協を許さぬ統率力で読響をリードする実力派。2013年読響コンサートマスターに就任、17年から特別客演コンサートマスターとして活躍。ベルリン・コンツェルトハウス管の第1コンサートマスター、同室内管のリーダーも務めている。パガニーニ国際コンクール第2位など受賞多数。自ら創設した芦屋国際音楽祭の芸術監督を務めている。幅広いレパートリーを誇り、バロック・ヴァイオリンにも取り組む。ベルリン在住。

読売日本交響楽団 第259回 土曜マチネーシリーズ

2023年 7月22日(土) 14時開演
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

読売日本交響楽団 第259回 日曜マチネーシリーズ

2023年 7月23日(日) 14時開演
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ池袋駅西口より徒歩2分
(*駅地下通路2b出口と直結しています)

【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター 0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>
*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

読響ホームページ <https://yomikyo.or.jp/>